

2023年度 日本工学院専門学校											
ITスペシャリスト科											
情報セキュリティ											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	東堂 隼平			実務経験	有	職種	システムエンジニア				
担当教員紹介											
高専卒業後、富士通株式会社にシステムエンジニアとして入社。セキュリティソリューション本部に配属後、2年間、主に公共系システムのNW設計・セキュリティ等を担当。応用情報技術者試験、CCSI(Certified Cisco Systems Instructor)を保有。											
授業概要											
情報セキュリティの基礎知識を教科書を中心に学び、管理、対策などを体系的に学習する。 情報セキュリティに関する課題演習やケーススタディを通じて、組織のCIOとしてのリスク分析および対策策定能力を養成する。											
到達目標											
1. 情報セキュリティの基礎から用語の理解、マネジメント、テクノロジー、ストラテジにおける知識を幅広く学習する。 2. 将来において情報セキュリティマネジメント試験に合格できる基礎力を養成する。											
授業方法											
1. 基本情報処理技術者試験の情報セキュリティ分野を振り返り、その理解度を確認する。 2. テーマに準じた演習問題やケーススタディを通じて理解度を高める。 3. 個人またはグループ演習課題を行い、実践的な技能を習得する。											
成績評価方法											
1. 試験・課題（レポート） 70% 定期試験や提出課題を総合的に評価する 2. 平常点 30% 授業への取り組み姿勢、態度を総合的に評価する											
履修上の注意											
1. 授業中の私語、飲食は禁止する。授業時数の4分の3以上出席しない場合は定期試験を受験することができないため注意する。 2. 聴講だけではなく、各自が演習課題に取り組み、納期までに提出する。 3. 将来のICT社会をリードしていく立場として、課題に対する意見交換や提言を行う。											
教科書教材											
徹底攻略 情報セキュリティマネジメント教科書 瀬戸美月・齋藤健一著（インプレス） その他、オリジナル課題、プリントなど											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス・1章 情報セキュリティの基礎知識 情報セキュリティ（情報セキュリティの目的、重要性、脅威とぜい弱性、不正と攻撃）が理解できる。										
第2回	1章 情報セキュリティの基礎知識 サイバー攻撃手法が理解できる。										
第3回	1章 情報セキュリティの基礎知識 情報セキュリティ技術（暗号化技術、認証技術）が理解できる。										
第4回	1章 情報セキュリティの基礎知識 情報セキュリティ技術（利用者認証・生体認証、公開鍵基盤）が理解できる。										
第5回	2章 情報セキュリティの管理 情報セキュリティマネジメント（情報セキュリティ管理、諸規程、ISMS、継続）が理解できる。										

2023年度 日本工学院専門学校	
I Tスペシャリスト科	
情報セキュリティ	
第6回	2章 情報セキュリティの管理 リスク分析と評価（情報資産、リスクの種類、アセスメント、リスク対応）が理解できる。
第7回	2章 情報セキュリティの管理 情報セキュリティの取組み（セキュリティ組織・機関、セキュリティ評価）が理解できる。
第8回	3章 情報セキュリティ対策 人的、技術的対策（クラッキング・不正アクセス）が理解できる。
第9回	3章 情報セキュリティ対策 技術的対策（マルウェア・不正プログラム、携帯・無線、証拠保全、その他）が理解できる。
第10回	3章 情報セキュリティ対策 物理的対策、セキュリティ実装技術（プロトコル、NW、DB、アプリ）が理解できる。
第11回	4章 法務 情報セキュリティ関連法規、その他関連法規・基準、ガイドライン・倫理、標準化が理解できる。
第12回	5章 マネジメント プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査が理解できる。
第13回	6章 テクノロジ コンピュータシステム、データベース、ネットワークが理解できる。
第14回	7章 ストラテジ システム戦略、システム企画、企業活動が理解できる。
第15回	まとめ・試験 総合的に情報セキュリティマネジメントが理解できる。